

# 樹脂・ゴム材料におけるブリード・ブルーム現象の発生メカニズムと制御・防止法【大阪開催】

日時 2015年7月7日(火) 10:30~16:30

主催 (株)R&D支援センター

会場 ドーンセンター 4F 大会議室3 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

定員:30名

受講料 49,980円 ※昼食・資料付

※満席になり次第、

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

募集を終了させていただきます。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

講師 今井 昭夫 氏 / 関西ゴム技術研修所 特別課目講師(元 日本エイアンドエル(株) 代表取締役)

【専門】 高分子材料設計、高分子合成、ポリマーアロイ、反応プロセス

## 趣旨

樹脂・ゴムなど実用高分子材料は、素材生産、成形加工、製品保管など条件の異なる各種の環境下に置かれることにより、劣化・変質の危険性を孕んでいる。このような変質を防止すると同時に、性能・機能の効果的な発現のために各種添加剤が配合されて用いられている。樹脂・ゴム材料の成分の一部や添加剤は、成形条件や樹脂・ゴム材料本体との親和性の程度によっては成型品表面にまで拡散し、意図せぬ模様を発生させることがあり、外観特性の低下として嫌われる。

本講ではこの現象と、その外観特性の異常との違いを分け、ブリード・ブルームの発生機構と防止法の考え方について解説する。

## 事前にこの知識

樹脂・ゴム製品の外観不良の原因の解析方法。

ブリード・ブルーム防止のための樹脂・ゴム材料や添加剤配合処方設計の考え方。

ブリード・ブルーム現象の制御技術を積極的に活用した新規機能性製品の開発に関する考え方。

## プログラム

1. 外観不良とブリード・ブルーム現象
  - 1-1 成形不良とブリード・ブルーム現象との見分け方
  - 1-2 ブリード・ブルーム発生機構の理論:拡散と溶解度
  - 1-3 ブリード成分の同定と解析:分離抽出と機器分析
2. 樹脂・ゴム材料におけるブリード・ブルーム現象の制御
  - 2-1 樹脂・ゴム成分の分子量分布・組成分布とブリード
  - 2-2 高分子の劣化とブリード
  - 2-3 添加剤の種類・処方とブリード・ブルーム
  - 2-4 樹脂・ゴム材料におけるブリード・ブルーム防止技術の変遷
  - 2-5 ブリード・ブルーム防止技術や処方の実例紹介
3. ブリード・ブルーム現象の制御と活用
  - 3-1 ブリード・ブルーム制御による機能発現
  - 3-2 ブリード制御による商品設計
4. 新規な樹脂材料におけるブリード制御
  - 4-1 ポリマーアロイ・モルフォロジー設計理論の応用
  - 4-2 相溶性制御と樹脂・ゴム材料設計
5. まとめとQ&A

## 『樹脂・ゴム材料におけるブリード・ブルーム現象の発生メカニズムと制御・防止法【大阪開催】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法  
左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-3599-5811)へご一報下さい。

■お支払  
請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

■個人情報の取り扱い  
ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。